

経営体の概要

- ・所在地: 島根県雲南市
- ・経営体名: (有)だんだんファーム
- ・栽培作物・作付面積: 青ねぎ、サラダホウレンソウ、
サラダ水菜、ミニセロリ・1.1ha
- ・社員: 5名、パート10名(平成30年8月現在)

導入経緯

- 導入年: 2015年
- 青ねぎ栽培におけるパネル収量向上のためのデータ集積を目的に導入。
- 数値をもとに改善→データ検討→改善策の実施を繰り返し課題解決を進める。

導入技術

- みどりクラウド(みどりボックス2)((株)セラク製)
- ・カメラ、温湿度センサー、日射量センサーによるデータ、
生育状況画像データを蓄積。
- ・安価で、操作が簡単。
- ・圃場外から上記の情報を確認できる。
- ・過去のデータや生育状況の画像が確認できる。

取組の特徴・効果

- ハウス内の環境を出先から確認し、管理者に指示できるようになった。また、離れた場所のハウスでも現地へ行くことなく大まかな状況把握ができるようになった。
- 集積したデータを検証しながら、より最適な管理方法を検討・改善した結果、パネル収量は1.46→2.62kgに増加し、また秀品率も向上した。
- 今後は葉先枯れ発生時のデータを用いて、遮光等管理の改善策の検討を続け、発生軽減を進めていく予定。また、上記以外の課題についてもデータを元に対策を検討・実施し、管理改善を進め、将来的には従業員の育成にも使っていく予定。
- 今後はリアルタイムで養液の状況を把握・管理ができるような管理を目指す。



環境データを収集しているハウス



みどりボックス設置の様子